

## 130309その他の保健衛生業－その他における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2022	5	6 ～ 8	早朝に事務所を同僚労働者が運転する検診車に同乗し、2名で当日の勤務地に向けて出発した。同日、高速道路において、胃部レントゲン検診車左後部のドアから転落し、同日昼ごろ、びまん性脳損傷で死亡した。	231	1	100 ～ 299
2018	4	12 ～ 13	事務所内において、被災者本人から休憩したいとの申し出があり休憩室で休憩していた。その後、他の職員が被災者の様子を確認しに行ったところ、心肺停止状態の被災者が発見された。	921	90	10 ～ 29
2011	8	9 ～ 10	リサイクル店の鉄くず置き場において、車両系建設機械の機体にグラップル状の物を取付た建設機械で廃品を軽トラックから降ろすため旋回したところ、旋回範囲内に居た被災者が当該機械のカウンターウエイトに激突され死亡した。	149	6	1～ 9
2011	11	13 ～ 14	訪問介護利用者宅に向かうため、被災者が自動車を運転して市道（幅員約3 m）を走行していたが、左折するのを誤って直進したため、Uターンしようとして後退したところ、運転操作のミスにより、川と市道の間にある堤防（高さ約60 cm）を乗り越えてしまい、川に自動車ごと転落した。その後、収容先の病院にて死亡した。	231	17	50 ～ 99
2010	3	5 ～ 6	前月に同僚が失踪し人員の補充はなく業務過多となり、前月下旬にうつ病エピソード（F32）を発病した。発災当日、事務所倉庫内で首つり自殺を図り死亡した。なお、発病前1か月間の時間外労働時間は95時間28分であった。	921	90	1～ 9

2007	7	12 ～ 13	被災者はエンジンを掛けたまま車を停車させ、車椅子用リフターの準備をしていたところ車が動き出し、止めようと運転席側から車に乗り込もうとした際、街路灯と車にはさまれた。この際転倒したため、同車の右後輪部にひかれた。	231	17	30 ～ 49
2007	11	15 ～ 16	片側1車線の直線道路で、ホイール式油圧ショベルを運転中、対向車の大型車両を避けようとしてスリップし、路外に落ちて横転した。被災者は運転席に閉じこめられ、救出されたが死亡した。	142	17	1～ 9
2005	2	21 ～ 22	ホテルでのマッサージ業務を終え、送迎用車両に同乗して会社に戻る途中、雪のため車両がスリップして道路脇の立木に激突した。	231	17	10 ～ 29
2001	6	14 ～ 15	介護サービスを行うため軽自動車で移動中、交差点において中央分離帯突端のコンクリート柱に衝突し、あお向けになり炎上した。	231	17	10 ～ 29
2000	9	16 ～ 17	オートバイでケアに行き勤務先に戻る途中の交差点で、直進していたところへ右折してきた2tトラックと衝突した。	221	17	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/SIB\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311\\_01.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.html)に戻る。